

## 完全含浸 UD テープ製造を画期的な装置サイズで実現

● 超音波を開繊・含浸に効果的に応用

● 滑らかな表面と均一な断面

● フィルムでの含浸樹脂供給

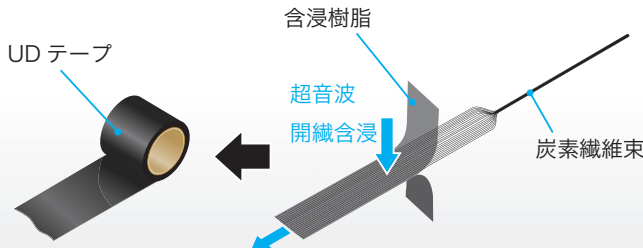
● コンパクトな装置



### アプリケーション Application

#### CFRTP UD テープ開繊・含浸

従来、空気開繊・ヒータ加熱で行っていた炭素繊維への開繊含浸を超音波で行なうことにより、均質な開繊・含浸を実現します。

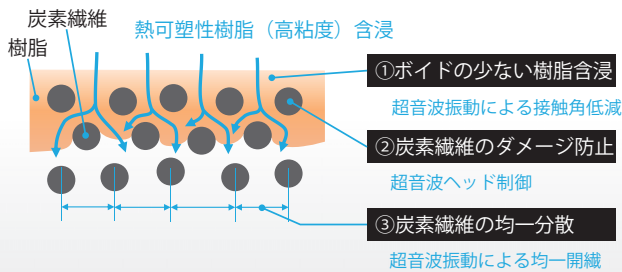


### 仕様 Specification

Head force	最大荷重 1000N
Process	超音波
Carbon fiber	12K、24K
Fiber roll	巻幅：252mm、巻径：82.5~200mm、1本
Impregnating film	フィルム幅：20~40mm、巻径 92~320mm、上下各1本
UD tape roll	巻幅：320mm、巻径：80~300mm
Recipe	条件設定：デジタル設定
Option	UD テープ幅モニタリング
Utility	空圧源 0.49MPa ドライエアー
	電 源 単相 200V 20A
Unit size	W2000 x D800 x H1700mm

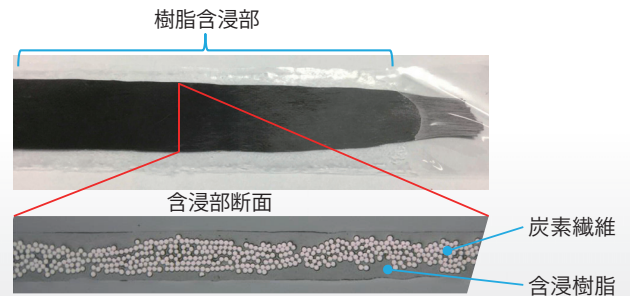
### ● 超音波を開繊・含浸に効果的に応用

炭素繊維をダメージなく均一に開繊し、高粘性の熱可塑性樹脂をボイド抑制しながら含浸させます。



### ● 滑らかな表面と均一な断面

超音波含浸では、含浸部の表面は滑らかで、含浸部断面は、炭素繊維が均一に分散されています。



### ● フィルムでの含浸樹脂供給

従来の含浸樹脂供給形態（パウダー、液相）に対し、メリットの多いフィルム状材料で供給できます。

樹脂の取扱いが容易

材料幅を選べる

樹脂量のバラつきが小さい

厚み変更でVFを調整可能

材質の選択肢が広がる

ドライでクリーンな環境

### ● コンパクトな装置

超音波技術によって、開繊・含浸装置を飛躍的に小型化しました。プレス現場にも設置できるサイズです。

